

浜松市立可美小学校

令和6年度後期 子供・保護者・教員による学校評価

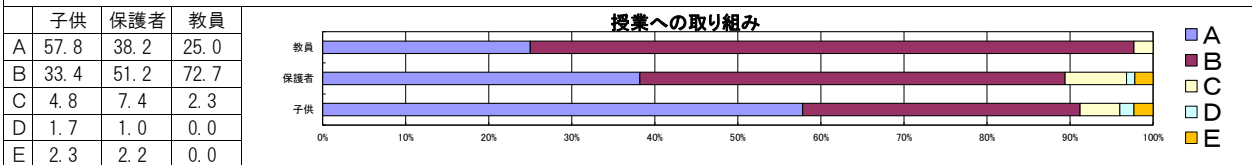
学校評価アンケートに御協力いただき、ありがとうございました。集計結果を報告します。本アンケートの結果や考察、また、自由記述にご記入いただいた意見などを参考にして、来年度の教育活動を検討していきます。

例 A：そう思う B：だいたいそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない E：わからない

718.0 710 38

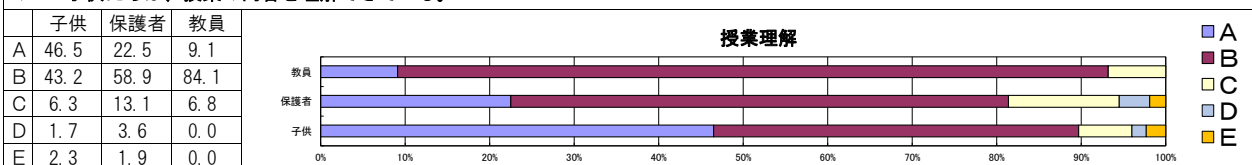
グラフは左からA B C D Eで表されています

Q1 子供たちは、楽しく授業に参加している。



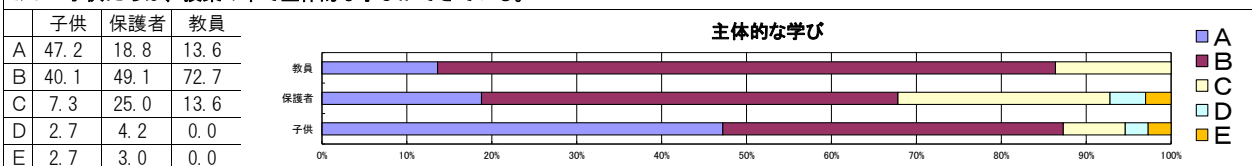
子供・教員の90%以上が楽しく参加していると答えていますが、保護者は90パーセンタに達していません。あまりそう思わないと7.4%が答えています。子供たちが楽しく学べるよう、来年度も楽しい授業づくりについて研修を深めていきたいと思います。

Q2 子供たちは、授業の内容を理解できている。



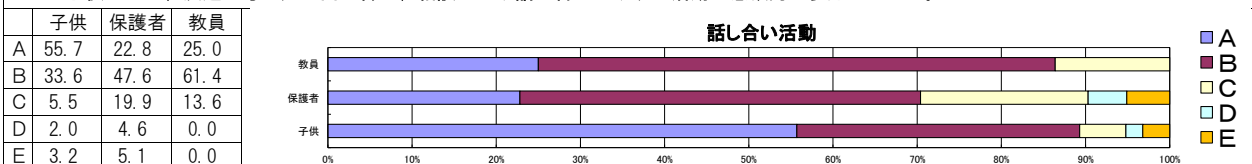
3者とも80%以上は理解できていると答えています。一人一人が理解できるよう、どのように寄り添い支援していくか、来年度も研修をしていきたいと思います。

Q3 子供たちは、授業の中で主体的な学びができている。



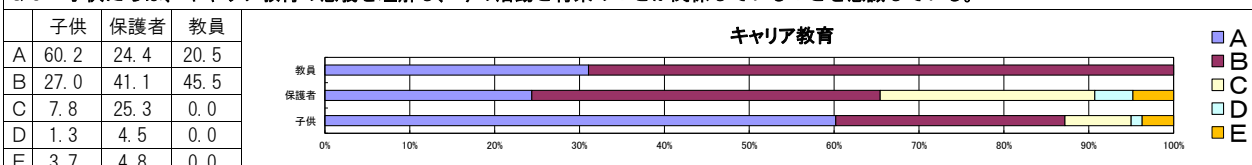
「自分の考えを持って、進んで学習に進んで取り組んでいると思うか。」という保護者への質問に対する評価が低かったです。参観の機会が少ない中で難しい質問だったと思われます。また、教員は、主体的な学びについて研修を進めています。指導要領でねらう主体的に学ぶ子供の育成を目指し、今後も研修を深めたいと思います。

Q4 子供たちは、友達と考え方を出し合い、相談したり話し合ったりする活動に意欲的に参加している。



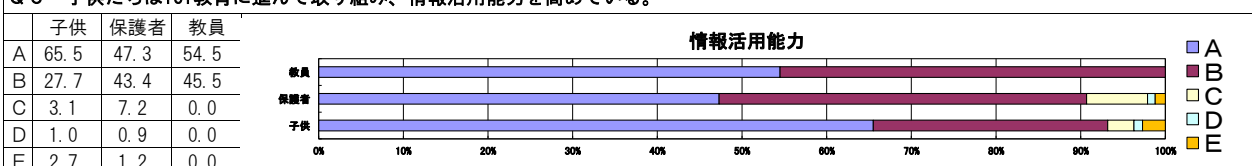
Q3同様、保護者には答えづらい質問だったと思います。子供たちの90%近くは、「進んで友達と考え方を出し合い、相談したり話し合ったりしている。」と答えています。教員が目指す「考えが深まる」話し合い活動に向けて今後も研修を進めていきたいと思います。

Q5 子供たちは、キャリア教育の意義を理解し、今の活動と将来のことが関係していることを意識している。



子供への質問は「将来に向かって、今できることをがんばっている。」で、85%以上は頑張っていると答えています。教員のキャリア教育の意識は高まっています。学校生活全般について、教員がキャリア教育を意識し、学習がいろいろな場面で生きていくものになるような授業を心掛け、子供たちにも意義が伝わるように継続的に指導していきたいと思います。

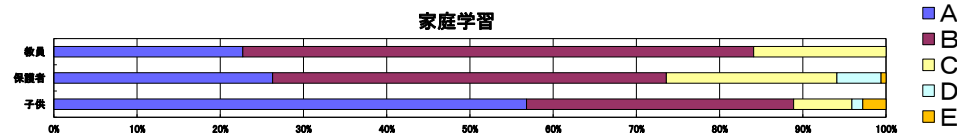
Q6 子供たちはICT教育に進んで取り組み、情報活用能力を高めている。



3者とも「できている」と答えた割合が今年度も90%を超えています。積極的にICT教育に取り組み、子供たちも意欲的に取り組んだ成果が表れました。今後も研修を進めていく必要があります。情報モラル教育も積極的に行っていきます。

Q7 子供たちは、家庭学習の習慣が身に付いている。

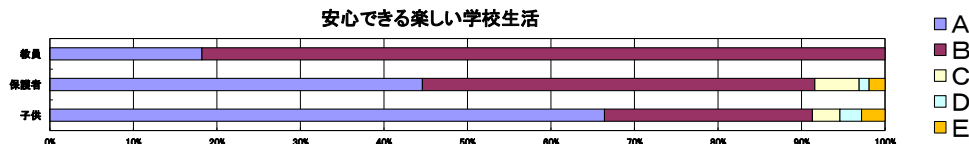
	子供	保護者	教員
A	56.8	26.3	22.7
B	32.1	47.3	61.4
C	7.0	20.5	15.9
D	1.3	5.3	0.0
E	2.8	0.6	0.0



子供・教員の90%近くが「家庭学習が身に付いている」と回答しています。しかし保護者は、75%程度で差があります。主体的な学びにつなげるためにも家庭学習は必要です。子供たちにどう家庭学習を習慣化させるのか、ICTを活用した宿題にも取り組みながら身に付けさせたいと思います。

Q8 子供たちは、安心して楽しく学校生活を送っている。

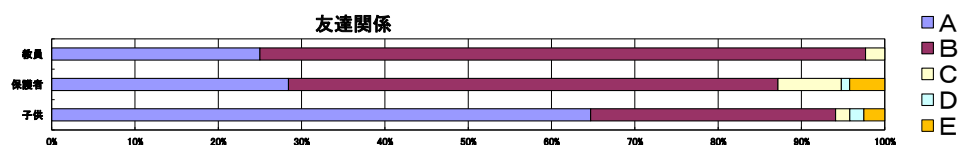
	子供	保護者	教員
A	66.4	44.6	18.2
B	24.9	47.0	81.8
C	3.3	5.3	0.0
D	2.6	1.2	0.0
E	2.8	1.9	0.0



3者ともに90%を超えて「安心して楽しく学校生活を送っている」と回答しました。しかし「そうではない」と回答している児童がいます。「楽しくない」「安心できない」と答えた子供たちの気持ちに寄り添い、よりよいアプローチの方法を考えていきたいと思います。

Q9 子供たちは、違う考えの友達とも尊重し合い、仲良く生活している。

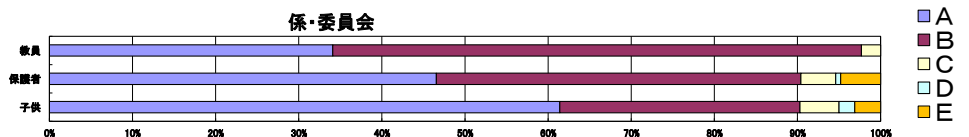
	子供	保護者	教員
A	64.7	28.4	25.0
B	29.4	58.7	72.7
C	1.7	7.6	2.3
D	1.7	1.0	0.0
E	2.5	4.2	0.0



子供・教員の90%以上が「いろいろな友達と仲良く生活できている。」と回答しました。保護者は85%程度で2者に比べてやや低かったです。友達とのよりよいかわり方についていろいろな機会に継続して指導していきたいと思います。

Q10 子供たちは、係や委員会の仕事を一生懸命頑張っている。

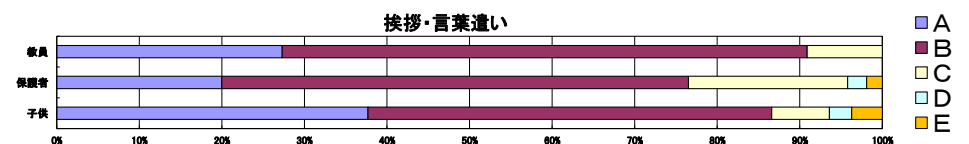
	子供	保護者	教員
A	61.4	46.6	34.1
B	28.9	43.9	63.6
C	4.7	4.2	2.3
D	1.9	0.6	0.0
E	3.1	4.8	0.0



三者とも90%近くが「係や委員会の仕事を頑張っている」と答えました。「頑張っていない」と感じている子供たちにも達成感を感じられるような活躍の機会や場を設定して、学級や学校の仕事を全員で行う工夫を考えたいと思います。

Q11 子供たちは、明るい挨拶や正しい言葉遣いをしている。

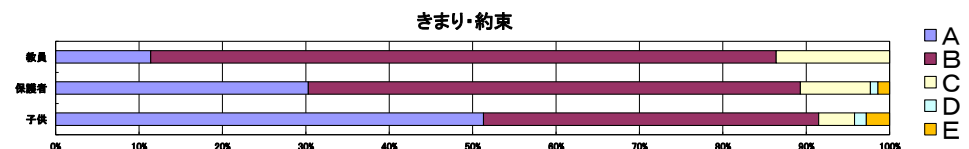
	子供	保護者	教員
A	37.7	20.0	27.3
B	48.9	56.6	63.6
C	7.0	19.3	9.1
D	2.7	2.3	0.0
E	3.7	1.9	0.0



前期に比べ教員の評価がやや高くなりました。職員全員で挨拶を意識して関わってきた表れだと思います。挨拶や言葉遣いは、基本的な生活習慣です。自分から挨拶ができる子供、明るい挨拶ができる子供、正しい言葉遣いができる子供が育つように大人も子供も意識しながら生活できるように継続的な指導が大切です。

Q12 子供たちは、きまりや約束、マナーを守って生活している。

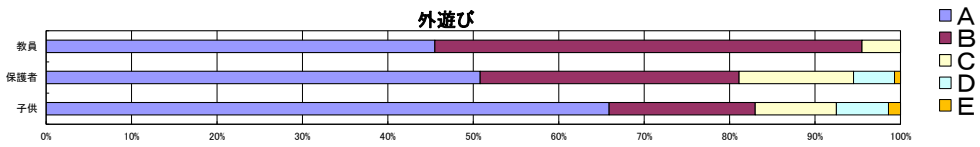
	子供	保護者	教員
A	51.3	30.3	11.4
B	40.2	59.0	75.0
C	4.3	8.4	13.6
D	1.4	0.9	0.0
E	2.8	1.4	0.0



3者とも90パーセント近くが守っていると回答しています。守れない、または自分で守っていないと感じている子供たちはどう支援、指導していくのかをみんなで共通理解して、同じ姿勢で指導していきたいと思います。

Q 13 子供たちは、体を動かしたり、外で遊んだりすることが好きである。

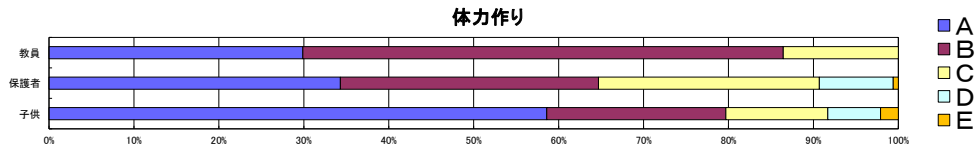
	子供	保護者	教員
A	65.9	50.8	45.5
B	17.1	30.3	50.0
C	9.5	13.4	4.5
D	6.1	4.8	0.0
E	1.4	0.7	0.0



子供によって運動の好き嫌いに差があり「体を動かしたり外で遊んだりするのが好きではない」の回答が高い項目です。特に児童の「好きではない」と答えた割合が高いです。今後も継続的に外遊びの楽しさやよさを感じられるような活動や場を設定して子供たちの体力作りにつなげたいと思います。

Q 14 子供たちは、進んで外遊びや体力作りをしている。

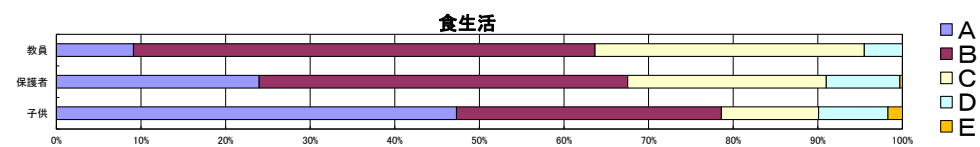
	子供	保護者	教員
A	58.6	34.3	30.0
B	21.1	30.4	56.8
C	12.0	26.0	13.6
D	6.2	8.7	0.0
E	2.1	0.6	0.0



Q13に続いて、「進んで外遊びや体力作りをしていない」の回答が高い項目です。「していない」と答えた、運動をしていない子供が気になります。室内で遊ぶゲームが主体でしょうか。子供たちの体力が低下していると言われていた昨今、外遊びや体力作りをどう推奨していくのか、検討していきたいと思います。

Q 15 子供たちは、好き嫌いなく給食を食べている。

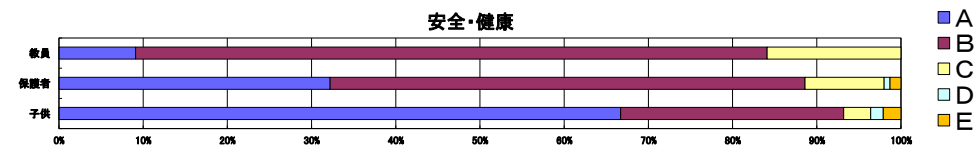
	子供	保護者	教員
A	47.3	24.0	9.1
B	31.3	43.6	54.5
C	11.5	23.5	31.8
D	8.2	8.7	4.5
E	1.7	0.3	0.0



「食育」の大切さをどのように指導していくのか考えさせられます。苦手の食べ物がある子供たちへの食育をどう進めていくか、家庭とも協力、連携して考えていきたいと思います。

Q 16 子供たちは、安全や健康に気を付けて生活している。

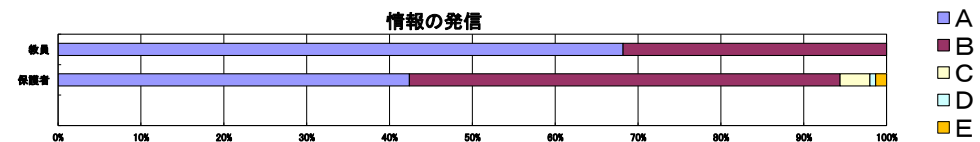
	子供	保護者	教員
A	66.7	32.2	9.1
B	26.5	56.4	75.0
C	3.2	9.4	15.9
D	1.5	0.7	0.0
E	2.1	1.3	0.0



3者とも90%以上が「安全や健康に気を付けて生活している」と回答しました。差はありますが、どの子供も安全や健康に気を付けて生活できていると思います。保護者の方の協力も不可欠です。連携しながら進めていきたいと思います。

Q 17 学校は、たよりやさくら連絡網、ホームページ等を通して、必要な情報を発信している。

	保護者	教員
A	42.4	68.2
B	52.0	31.8
C	3.6	0.0
D	0.7	0.0
E	1.3	0.0



学校では、定期的に学校だより・学年だより・保健だより・給食だより等を発行し、子供たちや保護者の皆様に情報発信しています。また、必要な情報は、さくら連絡網や手紙で正確かつ迅速にお知らせできるようにさらに検討していきます。紙媒体で欲しいという方もいらっしゃいます。必要な方にはお渡ししますので担任までお知らせください。